

令和5年度 奈良市指定文化財の指定について

1. 経過

- 令和6年1月18日（木） 奈良市指定文化財の指定について、市教育委員会から奈良市文化財保護審議会に諮問。
- 令和6年2月19日（月） 奈良市文化財保護審議会から市教育委員会あて答申。
- 令和6年3月27日（水） 3月定例教育委員会において、奈良市指定文化財3件の指定を決定。

この結果、奈良市指定文化財の総数は163件となった。

2. 指定物件

分類	件 名	数量	所有者・所在地	備考
絵画	絹本著色十三仏図	1 幅	興福院 奈良市法蓮町 881	室町時代
彫刻	木造地蔵菩薩立像（厨子入） 附 像内納入品 一括 藤寿女表白及び旧頭部 等に永正十一年、作者 仙算、番匠宿院源四郎 等の記がある	1 軀	西大寺 奈良市西大寺野神町 一丁目 6-10	室町時代
名勝	興福院庭園		興福院 奈良市法蓮町 881 の 一部・883	

けんぽんちゃくしよくじゅうさんぶつず
(1) 絹本著色十三仏図 1 幅

所有者 興福院（住所：奈良市法蓮町 881）

法 量 本紙（画面）縦98.7cm 横40.3cm

説 明

本図は、故人を供養する初七日から三十三回忌までの十三回の仏事で順に本尊とされる、如来・菩薩・明王を描いたものである。

裏面の銘文により、室町時代の長祿2年（1458）に菩提講に寄進されたことが分かり、同年の作と推定される。十三仏図の中で、中世の紀年銘をもつ希少な遺品であり、作風も優れていて貴重である。

もくぞうじぞうぼさつりゅうぞう ずしいり
(2) 木造地藏菩薩立像（厨子入） 1 軀

つけたり ぞうないのうにゅうひん いっかつ
附 像内納入品 一括

とうじゅめひょうびやく きゅうとうぶとう えいしょう さくしゃせんさん ばんしょう
藤寿女表白及び旧頭部等に永正十一年、作者仙算、番匠
しゅくいんげんしろうとう き
宿院源四郎等の記がある

所有者 西大寺（住所：奈良市西大寺芝町一丁目 1-5 奥の院は西大寺野神町一丁目 6-10）

法 量 像高93.9cm

説 明

西大寺奥の院の本尊として厨子内に安置されている。

墨書銘などから、永正11年（1514）に、海竜王寺地藏院の仙算が源四郎とともに作り、天文16年（1547）に宿院仏師源次が頭部を作り直したことが分かる。制作時期と作者が明らかな室町彫刻の基準作で、宿院仏師の歴史を考える上で注目すべき仏像である。当時の地藏信仰の様相が分かる多数の像内納入品を伴う点でも注目される。

こんふいんていえん
(3) 興福院庭園

所有者 興福院（住所：奈良市法蓮町 881）

面 積 5686.9 m²

説 明

興福院は佐保山南麓の傾斜地に位置し、客殿庭園は斜面に植栽や石組を配する。参道の東側には、三棟の茶室を伴う露地（茶庭）がある。本堂と渡り廊や霊屋（奈良市指定文化財）からは、奈良市街地を望むことができる。

斜面地形を巧みに活かした客殿庭園や茶室と一体になった趣のある露地と合わせ、全体が観賞上の価値が高い風致景観を形成していることから、客殿庭園と露地を含む境内の中心部を名勝として指定するものである。



(1) 絹本著色十三仏図



(2) 木造地藏菩薩立像（厨子入）
画像提供 奈良国立博物館



(3) 興福院庭園

奈良市指定文化財の件数

令和6年3月27日現在

分 類			件 数
有 形 文化財	建 造 物 ()内は棟数		28 (33)
	美 術 工 芸 品	絵 画	39
		彫 刻	38
		工 芸 品	9
		書跡・典籍	4
		古 文 書	0
		考古資料	7
		歴史資料	5
	小 計		小計 130
	無形文化財		
民 俗 文化財	有形民俗文化財		7
	無形民俗文化財		3
記念物	史 跡		8
	名 勝		2
	天然記念物		13
	小 計		小計 23
総 数			163